



5/7 子どもたちの応援のために



▲草都市長に帽子を渡す仲野執行役員(右)

サーラグループから「ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦」で使用する帽子を、市内小学校の5・6年生に寄贈していただきました。

仲野執行役員は「子どもたちがふるさとを誇りに思うお役に立てれば」と話し、草都市長は「帽子をかぶって応援する子どもとプレーする選手にとって、良い1日になることを願っています。ありがとうございます」と話しました。

5/15 熱い応援をジュビロ磐田に



▲ジュビロ磐田の選手に熱いエールを送る子どもたち

ヤマハスタジアムで2年ぶりとなる「ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦」が行われ、市内の小学6年生約1,500人が参加しました。今年の応援は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、声援から力強い拍手に代わり、その熱い応援は勝利を目指す選手に確実に届きました。

試合は遠藤保仁選手のゴールにより、ジュビロ磐田が1対0でザスパクサツ群馬に勝利しました。

4/30 いわた茶っていいな♪



▲夢中になってお茶を摘む園児たち

広瀬こども園の年長児24人が、一番茶の手摘み体験を行いました。

地元茶農家の鈴木陽介さんから、お茶の摘み方を教えてもらった園児たちは「葉っぱが柔らかい」「お茶のいい香りがする」と言いながら、貴重な体験に笑みを浮かべました。

園児たちが摘んだ一番茶は、市内産一番茶葉のみを使った「いわた茶缶」に使用されます。

5/7 ^{キガ}GIGAスクール構想がスタート



▲熱心にタブレット端末を使う児童

富士見小学校5年2組でタブレット端末を用いた図画工作の授業が行われました。今回の授業では、児童がペアになって粘土の形を変える、端末のカメラで撮影するということを繰り返し、パラパラ漫画のような作品を作りました。

担当教員は「今回学んだことを他の教科にも生かしていきたい」と話しました。市では今年中に市立小・中学校全校にタブレット端末を整備します。



5/19 平和の大切さを再確認しました



▲慰霊碑に祈りをささげました

磐田北小学校西側にある、こども厄除け地蔵と慰霊碑の前で、昭和20年5月19日の空襲で犠牲になった教員1人、児童28人の慰霊祭が行われ、PTA役員等関係者が冥福を祈りました。慰霊祭は今年で76年目となります。

参列した磐田北小学校PTA会長の倉田さんは「命の尊さ、平和の大切さを後世に語り継ぐために、絶やすことなく継続していきたいです」と話しました。

5/17 コロナワクチンの集団接種開始



▲医師から説明を受け、ワクチン接種をしました

5月17日(月)から、磐田市コロナワクチン接種センター（豊田北部小学校旧体育館）など市内5会場で、85歳以上の市民を対象にした新型コロナウイルスワクチンの集団接種が始まりました。

この日は事前予約をした125人が1回目の接種を行いました。最初に接種した方は「特に痛みはなかったです。早く打ててうれしいです」と話しました。

今後、対象者を拡げて接種を進めていきます。

5/21 地球温暖化について考えよう



▲電気のありがたさを体感しました

豊浜小学校で小学5年生が地球温暖化について学ぶ「アース・キッズチャレンジ」のキックオフイベントが行われました。

当日は温暖化に関するミニ講座のほかに、自転車を使った発電やごみの分別ゲームなどを体験しました。

ここで得たヒントをもとに、子どもたちはそれぞれ作戦を立て、エコ活動を実践します。まとめのセミナーイベントではエコリーダー認定証が授与されます。

5/19 見付の春を描きました



▲見付写生大会受賞者の皆さん

4月25日(日)に開催された見付写生大会で、656点の作品の中から選ばれた最優秀賞1人、優秀賞3人への表彰式が、見付交流センターで行なわれました。最優秀賞の松下^{るあ}瑠亜さん(右から3人目)は「^{おうみくにたま}淡海國玉神社の屋根のグラデーションを表現するのが難しかったけれど、受賞できてうれしいです」と話しました。

入賞作品64点は、市のホームページで掲載されています。(ページ番号：1009503)